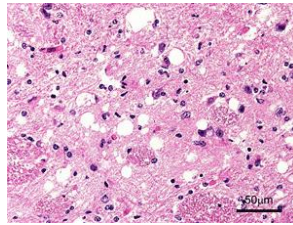


# 牛海綿状脳症（BSE）「清浄国」認定への貢献

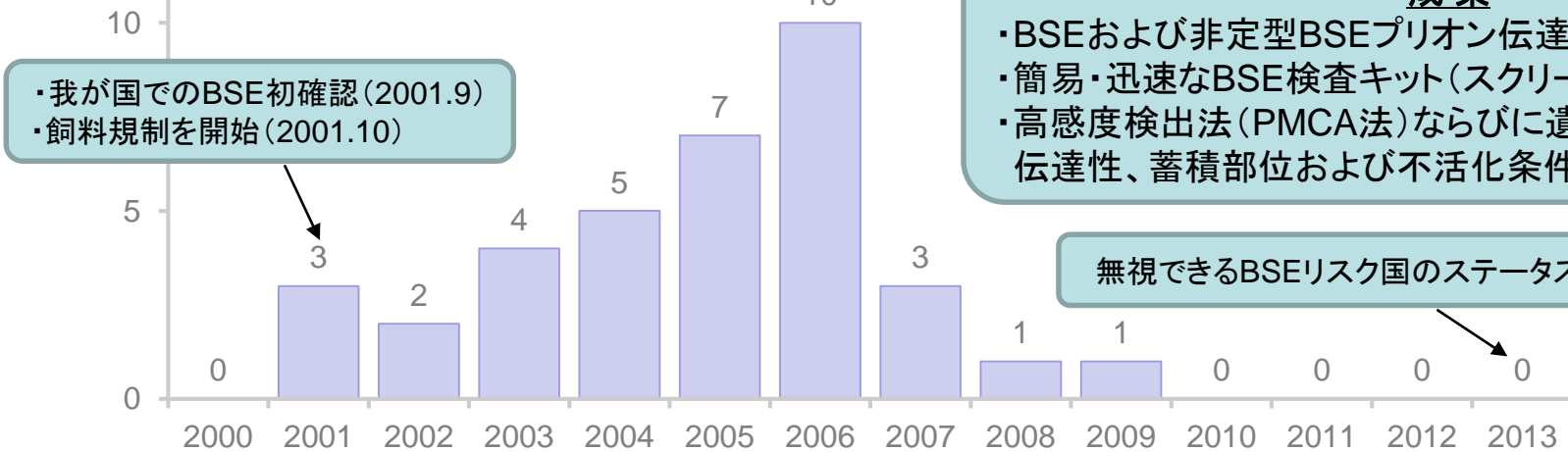
－リスク管理措置に不可欠な科学的知見を提供－

- ・牛海綿状脳症（BSE）について、動物衛生高度研究施設を活用し、我が国のBSEのリスク管理措置に科学的な知見を提供しています。
- ・スクリーニングキットと高感度検出法の開発および実験感染牛におけるプリオンの蓄積部位や不活化条件を示しました。
- ・国際獣疫事務局（OIE）による「無視できるBSEリスク国」のステータス認定につながり、日本からの牛肉の輸出制限解除に貢献しました。



左から、動物衛生高度研究施設、BSE感染試験、BSE発症牛の脳病変、遺伝子改変マウスによる伝達試験、スクリーニングキット、PMCA装置

国内の確認年次別BSEの発生状況



・我が国でのBSE初確認（2001.9）  
・飼料規制を開始（2001.10）

## 成果

- ・BSEおよび非定型BSEプリオン伝達試験による病態解明
- ・簡易・迅速なBSE検査キット（スクリーニングキット）の開発
- ・高感度検出法（PMCA法）ならびに遺伝子改変動物での伝達性、蓄積部位および不活化条件の検証

無視できるBSEリスク国のステータス認証（OIE, 2013.5）

☎ 詳しい情報を知りたい、という方はお気軽にご連絡ください。

（国研）農研機構 動物衛生研究部門 企画連携室

TEL: 029-838-7939 FAX: 029-838-7907 Email: xx145116@affrc.go.jp